

第三章活用事例

中学校版「心みつめて」 p.130
「礼儀」の基本を知っていますか？ p.131

中心資料

東京都道徳教育郷土資料集（第2集）
平成十九年三月 東京都教育委員会
「江戸しぐさを考える」ーめぐりに乗ってー

【主題名】 礼儀の意義

②「礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとる」
【ねらい】 礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとるための判断力を養う。

《ねらいとする道徳的価値について》中学生の時期は、礼儀の大切さを理解し、状況に応じた言葉遣いや行動の仕方ができるようになってきます。一方で、周囲の目を気にして適切な行動がとれない場面も見られます。相手の存在を認め、相手を尊重する気持ちを示すことが礼儀の基本であることに気付かせ、表面上ではなく、心と形が一体となった礼儀を身に付け実践する判断力を育てることが大切です。



「江戸しぐさをについて知っていますか。」

導入

○「心みつめて」 p.130 「江戸しぐさに学ぶ」の「横切りしぐさ」と「自堕落しぐさ」を紹介し、資料への導入を図る。

○教師が「江戸しぐさを考えるーめぐりに乗ってー」を範読する。



「めぐりの運転手はどのような気持ちで乗客に声をかけているのだろうか。」

○中年の女性の言動と対比させながら、運転手の行動の意味を考えさせる。



「私』は、バスの中で知人のために席を横取りした女性について、どのように感じただろうか。」

○バスの中で席を横取りした女性は、バスの運転手とは対照的に、江戸しぐさの考え方は反対の行動をしていることに気付かせる。

中心発問



「バスの中で出来事や『江戸しぐさ』の発表から、『私』が気付いたことや学んだことは何だろうか。」

展開

○人は思いやりの心をもって互いに支え合って生きていることを「私」が自覚し、その思いやりの心を行動にうつすことの大切さをあらためて実感していることに気付かせる。

《評価》 礼儀が人間尊重の精神に基づくものであり、時と場合に応じて適切な言動をとることで人間関係や社会生活が円滑になるということに気付けたか。



「江戸しぐさを考える」を読んで考えたことをもとに、自分を振り返ってみよう。」

○「心みつめて」 p.131 「T・P・Oをわきまえた言葉遣いや態度ができていますか？」を活用して、TⅡとき、PⅡところ、OⅡ場合、について説明し、身の回りの様々な「T・P・O」について考えさせながら、記入させる。

○「心みつめて」 p.130 「形に表して心を伝える」を読ませ、今後の自分の言動のあるべき姿について考えさせる。

○礼儀やマナーを守ることが求められる場面について、具体的な体験なども交えながら教師が説話をする。

終末

板書例

江戸しぐさを考えるーめぐりに乗ってー

「心みつめて」 p.130 「横切りしぐさ」
「自堕落しぐさ」のイラストを拡大コピーしたものを掲示する。

めぐりの運転手はどのような気持ちで乗客に声をかけているのだろうか。

- あいさつでバスの中の雰囲気をよくしたい。
- まず自分からあいさつをして、互いにあいさつができる環境にしていきたい。
- あいさつの気持ちよさをみんなで共有したい。
- お客様に気持ちよく過ごしてほしい。

「私』は、バスの中で知人のために席を横取りした女性について、どのように感じただろうか。

めぐりの写真

- 周囲の人への思いやりの気持ちが足りない。
- 自分たちのことだけしか考えていない行動は、周囲にいやな思いをさせるものなのだ。
- 高齢者には席を譲るべきだ。

バスの中で出来事や『江戸しぐさ』の発表から、私が気付いたことや学んだことは何だろうか。

- 江戸しぐさに込められた、互いを思いやる気持ちを大切にしていきたい。
- 心を行動で示していくことは、とても大切だ。
- 自分も相手も心地よく過ごせるようにするためには、自分のことと同じように相手のことも考えることが必要だ。

T=Time(とき)
P=Place(場所)
O=Occation (場合)

「これはおかしいな』と思ったことを書いてみよう！』『自分はこういうところに気をつけよう』と思うことを書いてみよう！』の欄に記入しよう。

- 朝、近所の人や友人に会ったら、まず自分からあいさつをして、気持ちを行動で示したい。
- 職場体験に行くときには、身だしなみだけでなく、言葉遣いや態度などもT・P・Oに合わせるように心掛ける。
- お互いに気持ちよく過ごすためには自分ができるよう行動すればよいか、いつも考えながら生活する。

《評価》 礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとるための判断力を育てることができたか。